

# 微生物の力を活用して放射能を根本的に解決しましょう！

## 映画「蘇生」 story

地球蘇生への道筋を  
ドキュメンタリーで描く。

2011年3月11日、東日本大震災  
そして福島原発事故。

現在も尚12万人以上の人たちが  
ふるさとを追われ避難生活を送っている。

目に見えない放射能汚染  
そして人類が直面している地球規模の様々な  
環境問題、食糧問題、健康問題。

地球最古の生物である微生物たちの驚くべき力に  
地球蘇生への鍵が隠されていた。

次世代の子供たちに美しいふるさとを繋いでいく為に  
今、私たちは何ができるのか？

地球規模で抱える様々な問題の解決策を探る。

映画「蘇生」の上映の後は、  
三河湾EM浄化活動の話、  
家庭でのEM活用方法の話をしませ



EM (effective microorganisms)  
→有用微生物群

これからの子どもたちの  
ために、あなたにできる  
ことがあります！

思い出してください！

広島・長崎の原爆の後50年はペンペン草も  
生えないだろうと言われたのに、1年後には  
見事に生えていました。  
これは日本の昔の風土に根付いていた家庭  
の手作りの味噌作り、糠漬け、梅干しなどの  
発酵文化、それと古来からの肥溜めを使った  
農業（発酵微生物農法）のおかげで自然に  
微生物が活躍したのだと思います。

今政府が行っている放射能の除染対策は  
放射能汚染を水で洗う、土を剥ぐという  
ただ移染しているだけで、しかもいまだ  
出続けている放射能も残念ながら  
手の打ちようのない無策状態です。

この映画は微生物が放射能を原子転換  
して、根本的に除染する方法を各界の  
専門家が語っています。  
現実行われていること、可能性を知っ  
てください。  
そして自分でできる可能性を知って  
家族を守りましょう！

コスモEMタウン 榊原和久



「この映画を、大切な友だちに見てもらいたい。  
そして、この情報を、大切な仲間と共有したい。  
多くの人に、知ってもらいたい。」

初めてこの映画を見ている時にそう思い、  
西尾で上映会をすることを決めました。

私たちの命は、いろいろな存在に支えられて  
続いていっています。

海、大地、空気、命をいただく動物や植物、微生物。  
全ての恩送りで生かされている。  
この事を思い出させてくれました。

地球は、一つの生命体だし、私の身体も、  
1000兆の微生物と共に生きる生命共同体だった。  
微生物をベースに考えると、自分の命も、周りの  
人たちの命も、動物も植物も、地球も、  
とっても愛おしく感じられるようになりました。  
環境浄化のこと、健康のこと、除染や放射能対策、  
いろんな答えがここにある。  
今やるべきことが、具体的な方法が、  
明確になりました。

私が伝えたいことが、ここにあります。  
子育て中のお父さんお母さんに見てもらいたくて、  
二回の上映に託児を用意しました。  
白鳥哲監督の魂のメッセージを受け取ってください。  
この映画を観た人が、  
ますます愛でいっぱいになりますように。  
ありがとうございます！

うみと大地 石川ともえ(菌ちゃん先生)



蘇生感想



蘇生予告編